

モンタナ大学マンスフィールド  
センター（モンタナ州）

# JOIプログラム

第19期コーディネーター  
2021年7月～

メイビル州立大学  
（ノースダコタ州）



吉田 有希



波多野 愛子



渡辺 洋子

コロラド日米協会  
（コロラド州）



山本 将大

ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン・  
オブ・フェニックス(鳳凰園)（アリゾナ州）



岩本 彩

セントラル・オクラホマ大学  
（オクラホマ州）



永井 麻莉子

ネブラスカ大学リンカーン校  
（ネブラスカ州）



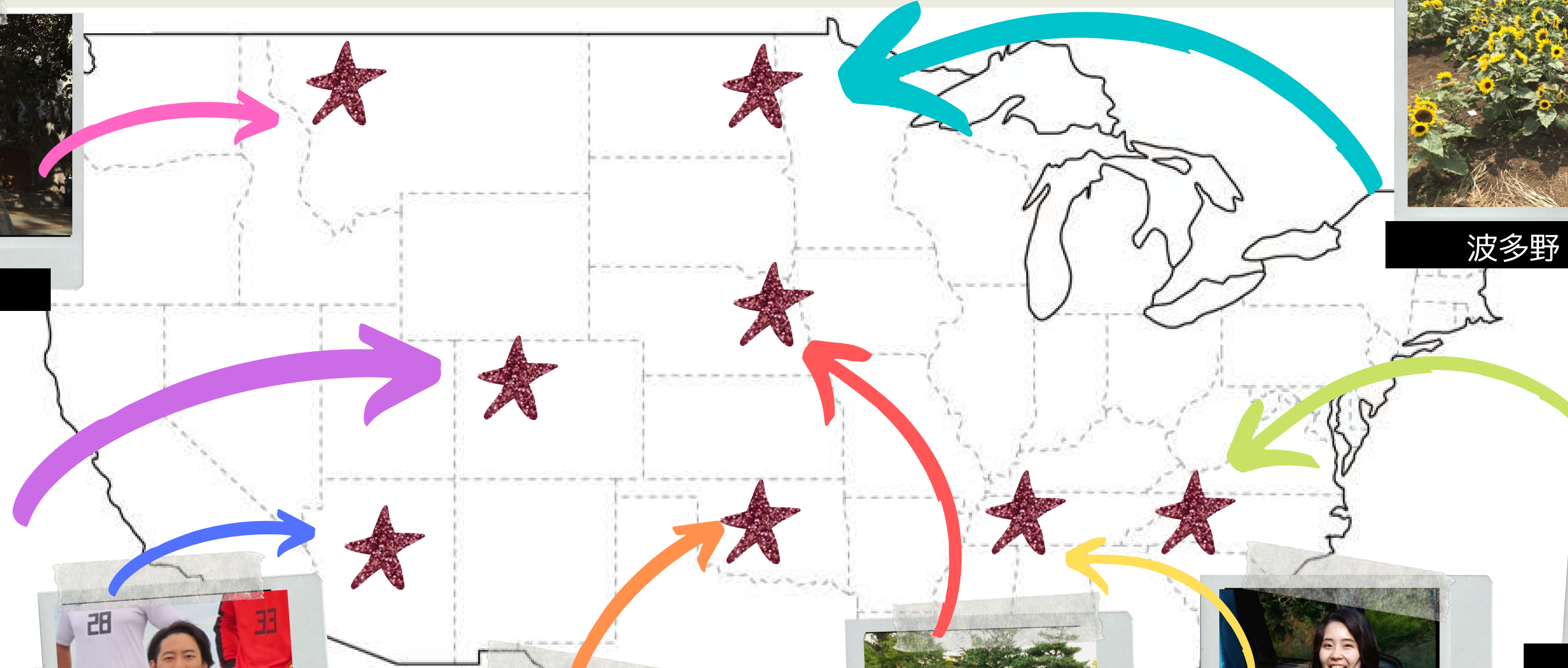
山岡 舞花

メンフィス大学/  
メンフィス・ボタニック・  
ガーデン（テネシー州）



岡村 奈々花

ウェスタン・カロライナ大学  
（ノースカロライナ州）





# 岩本 彩

派遣先：University of Central Oklahoma  
セントラル・オクラホマ大学（オクラホマ州）

京都市出身。小学生の頃、好きだったマイケルジャクソンをきっかけにWe are the Worldと出会い、国際平和・国際交流に興味を持つ。通っていた高校は帰国子女が多く、様々なバックグラウンドを持った人と関わり、異文化理解について学ぶ。アメリカンフットボール部にマネージャとして所属し、米国の文化を更に知りたいと感じる。大学時代は米国ミシガン州へ留学し、現地の小学校で日本文化を教える経験をする。また旅行で訪れたパラオでは、現地の小学校で働くJICA職員の方と出会い、学校や教会でのボランティア活動に参加。日本文化の奥深さを知るとともに、やりがいを感じ、将来は国際交流を通して、多くの人的人生に関わり、何らかのきっかけを与えたいという強い思いを持ち、JOIへ応募。





# 岡村 奈々花

派遣先：Western Carolina University  
ウェスタン・カロライナ大学（ノースカロライナ州）

大学では情報科学を専攻するとともに、教職課程と日本語教員養成課程を履修し、主にプログラミングや教育について学ぶ。資格が取得できるという理由で履修していた日本語教員養成課程であったが、学んでいるうちに日本語を教えることや、日本の文化を伝えること、国際交流に興味を湧く。また、大学入学当初より、塾講師として働いていたこともあり、教育分野にも強い関心があり、このような自身の経験や知識を活かせる場はないかと模索していたところ、JOIプログラムに出会い、コーディネーターとして活動したいと思い応募。すでに日本に興味を抱いている方には、より興味を抱いてもらえるよう、そうでない方には、少しでも興味を抱いてもらえるよう、活動したい。





# 永井 麻莉子

派遣先：University of Nebraska Lincoln  
ネブラスカ大学リンカーン校（ネブラスカ州）

福岡県出身。西南学院大学国際文化学部を卒業。高校時代に福岡市と姉妹都市のカリフォルニア州オークランドとの交換プログラムに参加したことがきっかけで、海外と英語に興味を持つ。さらに、高校時代の英語教師の影響で、国際交流をしたい、英語をもっと話せるようになり世界中の様々な人と関われるようになりたいと思い、大学在学中に、短期語学研修や長期交換留学プログラムに参加し米国に滞在。また、国内外を問わず旅行をし、海外に行くだけでなく日本のことを海外に発信できるようになりたいという思いを持つ。社会人になり、東京で英語教育やコンベンション業界で仕事をするが、高校生の時から強く抱いていた「日本と海外の架け橋になりたい！」という夢を実現するためJOIに応募。





# 波多野 愛子

派遣先：Mayville State University  
メイビル州立大学（ノースダコタ州）

幼少期に祖母が在京英国大使館で書道を教えていた話を聞き、小学生の頃から日本と海外を繋ぐ人になりたいという夢を持つ。大学では社会学を専攻する傍ら、副専攻として日本語教員養成課程を修了。大学1年の夏にはアイルランドへ語学留学。日本人が少ないところでの経験がさらに英語を勉強するモチベーションとなった。また、国際学生会議への参加・運営を経験し、社会問題についての議論だけでなく日本文化を通じて海外の学生と仲良くなることができた実感。大学卒業後は商社に就職し、アメリカンビーフの輸入・通関デリバリー業務に携わり、アメリカにより強い興味を持つ。日本の良いものをアメリカに伝えたいと思い、学生時代の学びと経験を活かせる場がJOIプログラムだと感じ、応募に至る。





# 山岡 舞花

派遣先：University of Memphis/  
Memphis Botanic Garden

メンフィス大学/メンフィス・ボタニック・ガーデン  
(テネシー州)

幼い頃から習っていた琴や日本語教師の母の影響で日本文化を伝えることに以前から興味があった。大学時代は、社会人類学を専攻し、長期休暇の度に国内やアジア、欧州、南米へバックパッカー旅行に出掛ける中で、文化によって世界の見方が異なること、そしてそれを知ることの楽しさ、重要性を学ぶ。交換留学で滞在していた英国ウェールズでは、日本文化サークルで活動をし、着物や茶道などのイベントを企画する中で、Ambassadorと呼ばれることに喜びを覚え、大学卒業後は国際交流プログラムの仕事に従事。今度は、自分が日本を伝える事で人々に異文化理解の楽しさを伝えたい、また米国で自分がいかに人々へ影響を与えられるかチャレンジしたいと思いJOIに応募する。





# 山本 将大

派遣先：Japanese Friendship Garden of Phoenix  
ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン・オブ・  
フェニックス(鳳凰園) (アリゾナ州)

埼玉県出身、浦和レッズサポーター。サッカーの影響もあり海外に興味を持つ。大学在学中はメキシコへ留学。語学だけでなく、海外生活・異文化交流という点において大きな影響を受ける。大学卒業後、一般企業で働くも、より広い世界への憧れから英語の勉強もかねてアメリカ留学を決意。留学中は勉強だけでなく、日本についてのプレゼンテーションも幼稚園にて経験。帰国後は外資系海外引越会社に勤務。過去の体験を踏まえ、外国籍のお客様には日本の生活を、日本人のお客様には外国での生活について説明することで立場を確保。これらの経験を活かし、より大きな舞台で挑戦し、成長したいという思いからJOIへ応募。

Hotなアリゾナ・PhoenixでCool Japanを広められるよう奮闘します！





# 吉田 有希

派遣先：University of Montana Mansfield Center  
モンタナ大学マンスフィールドセンター（モンタナ州）

ハリウッド映画好きの父の影響で、幼い頃よりアメリカの文化に興味を持つ。アメリカ文化を知るだけでなく、更に、大好きなアメリカの人にも日本の良さを知ってもらいたいと思い、大学在学中「日本語・日本文化ティーチングインターン」として2年間の研修を積む。その後、米国サウスカロライナ州の小学校に派遣される。初めて日本人・日本文化にふれ、目をキラキラさせて日本文化を楽しむアメリカの小学生の姿を見て、「将来は日本とアメリカの架け橋になるような仕事がしたい」という夢を抱く。JOIコーディネーターはまさに米国と日本の架け橋。より多くのアメリカの人に「生」の日本を届け、より多くの日本人に「生」のアメリカを届けたいと思いJOIプログラムに応募。





# 渡辺 洋子

派遣先：Japan America Society of Colorado  
コロラド日米協会（コロラド州）

大学で幼稚園・特別支援学校教員免許を取得するが、在学中にビジネスへの興味が高まり、卒業後は一般企業の営業職に従事する。途中、NYへ短期語学留学をした際、日本に限らず世界をフィールドに活躍できる人材になりたいという気持ちが芽生える。その一方で自身の経験から、「子供たちや困難に直面している人々の夢を描くサポートを、ライフワークにしたい」という長年の想いが高まり、社会起業家を育成するビジネススクールに通学し、個人で演奏家派遣等の活動にチャレンジする。そんな中、趣味のダンス仲間から、JOIコーディネーターのOGを紹介してもらう。活動内容・場所がフレキシブルで、コーディネーターの企画・力量次第という点に惹かれ、この活動を通して自身のライフワークの精度を高めていきたいと思い応募する。

